

## 大会宣言（案）

今日、少子高齢化の進行や人間関係の希薄化などを背景に、社会や家族の姿は、大きく変化しています。老老介護や八〇五〇問題、ダブル介護等、複数の課題を抱えている世帯の増加、生活困窮や児童・高齢者 障がい者への虐待、高齢者をターゲットにした犯罪の続出など人々が直面する生活課題、福祉課題は多様化・深刻化・複雑化しており、支援の方法も課題解決も困難を極めています。

本年 一月、千葉県内で、小学四年生の女兒が、両親からの虐待により亡くなるという重大な事件が発生しました。女の子は、大人に助けを求めていたにもかかわらず、我々大人はその命を守ることができませんでした。千葉県では、このような事件を二度と起こさぬよう、県児童虐待死亡事例等検証委員会を設置し、事件の原因を検証することといたしました。千葉県民生委員児童委員協議会の代表も本委員会に参画し、民生委員・児童委員として何ができたのか、何ができるのか議論を深めています。児童虐待は、家庭という密室の中で発生するので、発見するのが困難な場合も多々あります。しかし、私たち民生委員・児童委員は、地域の見守り役として、些細な変化にも気を配り関係機関と連携し、子どもの命を最優先にする決意をもって、取り組んでいこうではありませんか。

さて、本年は、民生委員・児童委員の「斉改選の年です。濟世顧問制度」からスタートした「民生委員制度」は百年の長きにわたり、先達の努力により守り育てられてきました。この類まれな制度をより一層発展させるために、私たちは、常に自己研鑽するとともに、共に活動する仲間を増やし、共に支え合いながら、活動することが大切ではないでしょうか。

あらためて、われわれ一人ひとりが、このつながりを胸にし、自分らしく地域と向き合い、この役割を果たしていくことを誓い、本日、第十九回千葉県民生委員児童委員大会を開催するにあたり、次のとおり宣言します。

- 一 私たち民生委員・児童委員は、互いに支えあい、安心して暮らせる地域共生社会「構築の推進役として、互いに支え合う地域コミュニティの再生と、支援が必要な人、一人ひとりの相談に対し、地域の幅広い関係者と連携し問題の解決に努めます。
- 一 幼い命を守りすべての子どもたちが笑顔で暮らせる地域社会を作るため、虐待が疑われる異変を発見したら躊躇することなく、関係機関と連携し虐待の早期対応に取り組みます。
- 一 一斉改選を控え、推薦母体となる関係者や地域住民に対して、民生委員・児童委員の役割の大切さと活動を周知し、適任者の確保に努めます。
- 一 民生委員・児童委員が、様々な課題に的確に対応し、充実した活動を展開できるよう、活動を支える民生委員・児童委員協議会の組織の強化に努めます。

令和元年七月十八日 第十九回千葉県民生委員児童委員大会